

## 調査、予測及び評価の手法

### - 1 調査手法

項目	調査方法・調査地点
土壌汚染物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本地区及びその周辺 12 地点において、土壌中の重金属等の含有量試験及び溶出試験を行った。</li> <li>・ 含有量試験項目(6項目) カドミウム、鉛、砒素、総水銀、銅、硫化物</li> <li>・ 溶出試験</li> <li>・ 溶出試験(24項目) カドミウム、全シアン、有機燐、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、P C B、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン</li> </ul>

### - 2 予測及び評価手法

#### 1) 工事中

項目	土壌汚染の可能性、有害物質の使用に伴う土壌汚染の可能性
予測	予測地域: 土工工事箇所周辺 予測時期: 土工工事の実施時期 予測方法 (1) 土壌汚染の可能性 現況調査において環境基準を超える値が検出された場合には、対策、配慮事項を明らかにすることにより予測を行った。 (2) 有害物質の使用に伴う土壌汚染の可能性 有害物質の使用方法・管理方法等あるいは有害物質の使用を回避又は低減するための対策、配慮事項について明らかにすることにより予測を行った。
評価	事業の実施による土壌汚染発生の可能性が、実行可能な範囲内で回避又は低減されているかについて評価を行った。

#### 2) 供用時

項目	有害物質の使用に伴う土壌汚染の可能性
予測	予測地域: 会場候補地内 予測時期: 博覧会開催期間 予測方法 ・有害物質の使用に伴う土壌汚染の可能性 有害物質の使用方法・管理方法等あるいは有害物質の使用を回避又は低減するための対策、配慮事項について明らかにすることにより予測を行った。
評価	事業の実施による土壌汚染発生の可能性が、実行可能な範囲内で回避又は低減されているかについて評価を行った。